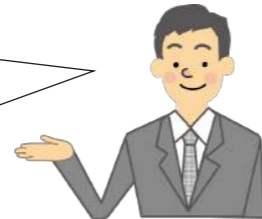


### 【目的】未来ビジョンをどうしてつくるのか？

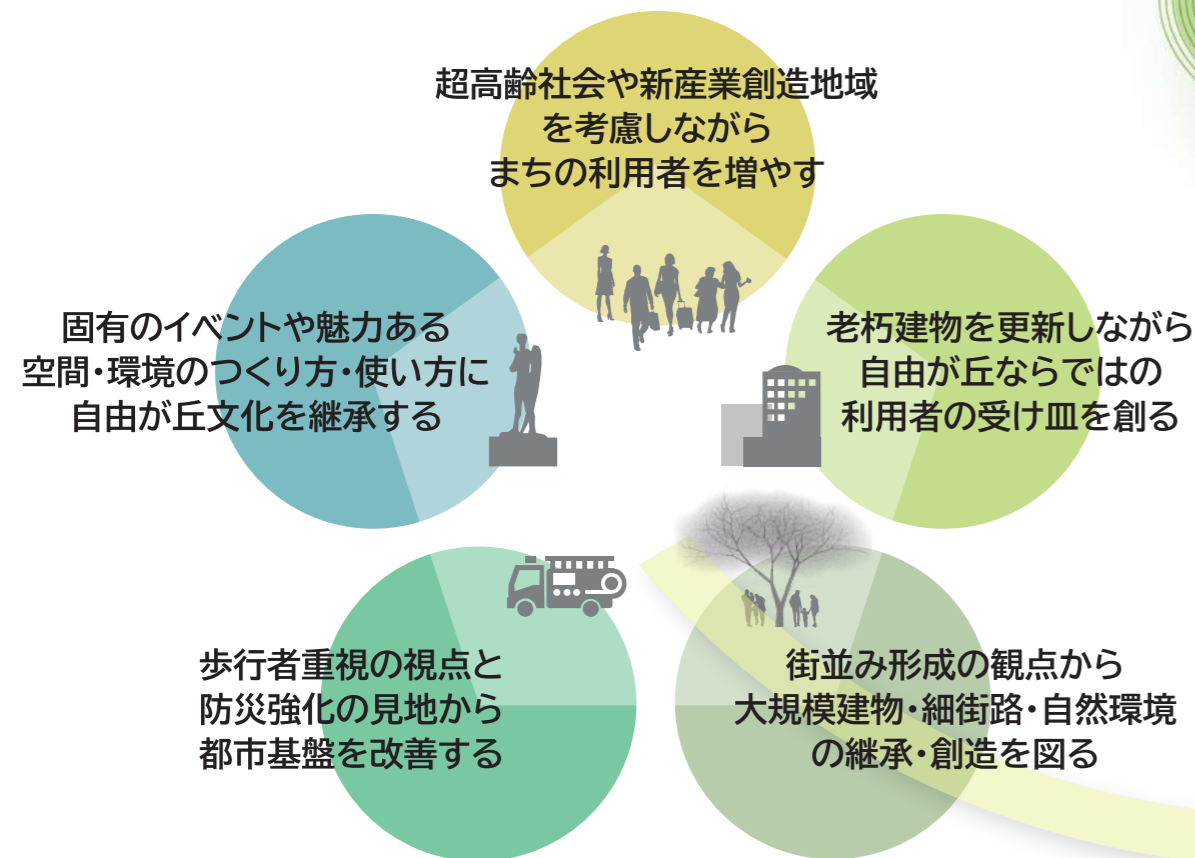
- 今のまちづくりの方向性を示した「コミュニティマート構想」から30年超が経過
- 情報技術の革新、超高齢社会の進展、地球環境問題などまちを取り巻く情勢が急速に変化

まちづくりがひと回りする次の30年後を視野に、世の中の急速な変化を見すえながら、自由が丘が自由が丘たりえる文化性を次の時代につないでいくことを目指した新たなまちづくりの道しるべとして『自由が丘未来ビジョン』を策定しました。



### 【将来像】30年後にむけてどのようなまちをつくりだしていくのか？

### 【課題】これからのまちづくりに何を大事にしていくのか？

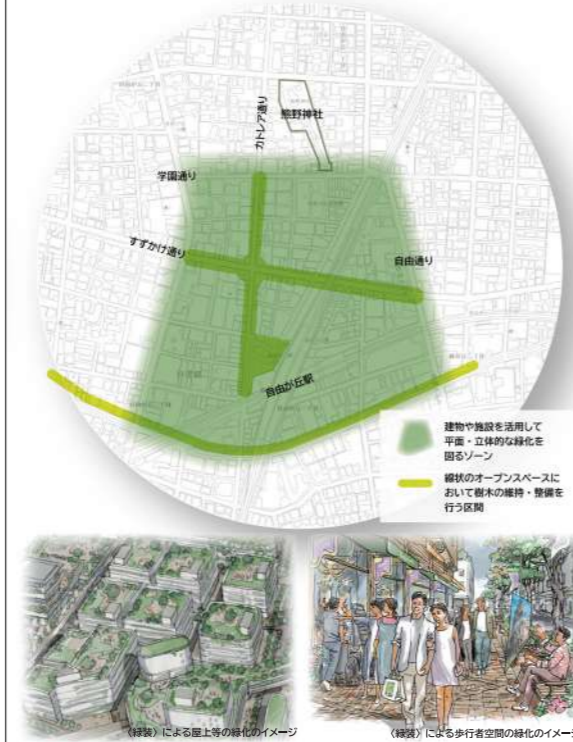




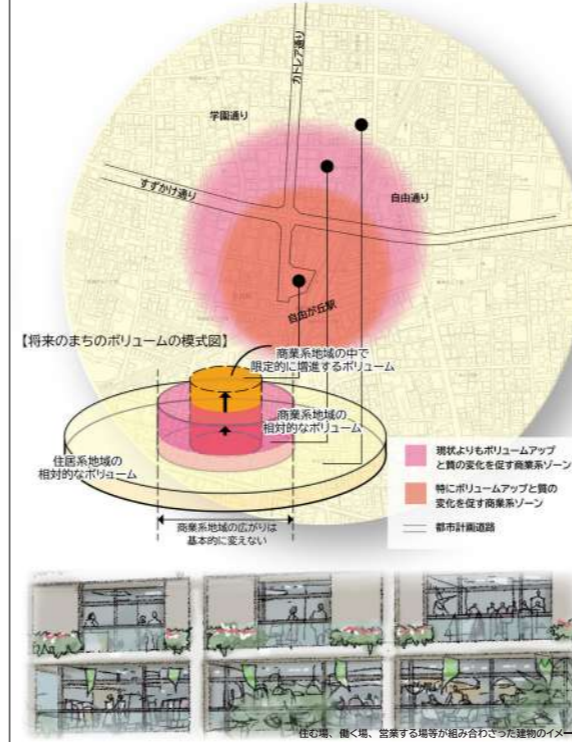
Lead GREEN に向けて **目標1**  
**駅前と周辺を安全と楽しさで**  
**つなぐ“楽歩”環境をつくりだす**  
 誰もが安全・快適に回遊できる  
**歩行者空間の創出**



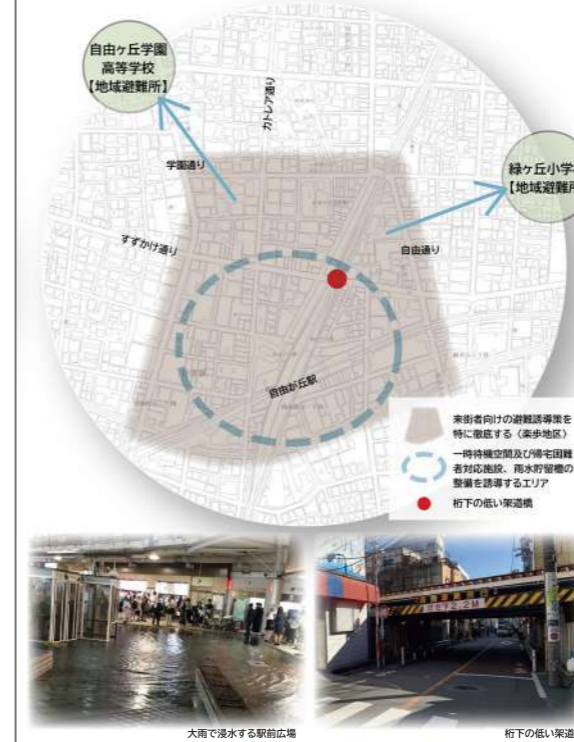
Lead GREEN に向けて **目標2**  
**人と地球へのやさしさを発現**  
**する“緑装”のまちをつくりだす**  
 グリーン社会を可視化する  
**景観の創出**



Lead GREEN に向けて **目標3**  
**といまく変化を先取りした多様な**  
**利用者の受け皿をつくりだす**  
 超高齢社会やビジネス交流を  
**支える建物への更新**



Lead GREEN に向けて **目標4**  
**まちを利用する誰もが災害発生時**  
**に慌てずにすむ安心感をつくりだす**  
 人を集めるまちとしての  
**防災力の強化**

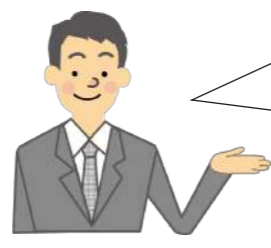


Lead GREEN に向けて **目標5**  
**進展するデジタル技術の活用により**  
**誰にもやさしいまちをつくりだす**  
 グリーン × デジタルを実装する  
**市街地の形成**



**[当面] 具体的に始められることは何か？**

- 1 「自由が丘地区街並み形成指針」の内容の拡充  
再開発計画との調整や、建物の緑化・木質化・再生可能エネルギー導入促進 など
- 2 まちづくりルールの新設・更新  
老朽建物の更新促進や歩行者空間の拡充など
- 3 都市再生整備計画の策定  
公民連携による取組の位置づけや楽歩地区の設定など
- 4 〈楽歩地区〉における歩行者空間活用の拡充  
道路や駅前広場で実施しているイベントの継続・発展など
- 5 自由が丘駅周辺地区の都市基盤の整備推進  
回遊性向上と防災性強化に資する道路や鉄道などの都市基盤の整備
- 6 駐車場地域ルールの策定・運用  
自由が丘独自の地域ルール策定による歩行者優先環境の実現



●都市再生推進法人(株)ジェイ・スピリットを統括役としながら、関係する組織・団体がフラットにつながり合う〈自由が丘エリアプラットフォーム〉が、様々な組み合わせを行うことで『自由が丘未来ビジョン』の実現を図っていきます。

**[取組主体] だれが、どうやってまちづくりを進めるか？**

